

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月23日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902306		
法人名	有限会社 健昭会		
事業所名	グループホーム 太陽と緑		
所在地	北海道旭川市旭神町19番地36 (電話) 0166-66-5527		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年2月22日	評価確定日	平成20年3月10日

【情報提供票より】(平成20年2月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算 16人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り	
	1階建ての	1~一部2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	14,000~20,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無		有りの場合償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,100 円	

(4) 利用者の概要(2月12日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	3 名	要介護4	7 名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 81 歳	最低	69 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川神居内科医院・森山病院・三戸歯科医院・あおぞらクリニック
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームは、平屋作りの建物ですが2階部分があり職員の休憩室、会議室として利用されています。敷地内には、職員の駐車スペースが確保されていたり、ホームの裏手では畑が作られ利用者が職員とともに楽しみながら野菜を栽培しています。職員は、すべて正職員で町内会の清掃などの行事に参加したり、ホーム主催の「夏祭り」を開催して近隣住民や家族に参加を呼びかけるなど地域の人達との交流も行われています。また、嚥下体操に取り組んだり、健康状態や状態変化など家族との連絡を密に取るなどケアサービスの質の向上に取り組まれています。前回評価の改善点は、是正されていることが確認されました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、緊急時の対応について課題が挙げられていましたが、AEDの購入もきまり今後は、家族や地域の人達、職員も参加した講習会の実施も計画されて救急救命への対応が改善されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいます。外部評価の結果については、運営推進会議に報告され改善点について意見交換されケアサービスの質の向上に利用されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在2回実施されています。主な議題についてはホーム主催の行事内容と報告について 災害対策について 献立メニューについて 地域との連携について 今後は、運営推進会議が2ヶ月毎に開催できるよう計画されています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	運営推進会議で家族の意見や苦情を聞く機会を作ったり、毎月家族毎に「お手紙」で日常生活の様子や状態変化について情報提供しています。また、玄関入り口に意見箱を設置して意見や苦情を表せる機会を設けて、それらを全体会議で総括し運営に反映しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の敬老会や清掃行事、古紙回収事業への参加やホーム主催の「夏祭り」を実施して近隣住民に参加を呼びかけ交流への取り組みが行われています。また、町内会役員が参加する運営推進会議での交流を通じて、さらに連携を深めていく計画がされています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとしてグループホーム独自の理念をつくりあげて、見やすい場所に掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、全体会議を通じて理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の敬老会や清掃行事、古紙回収事業への参加やホーム主催の「夏祭り」を実施して近隣住民に参加を呼びかけ交流への取り組みが行われています。また、地域の商店を利用して交流を深めていけるように工夫している。		町内会役員が参加する運営推進会議での交流を通じて、さらに連携を深めていくことが期待されます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいます。外部評価の結果については、運営推進会議に報告され改善点について意見交換されケアサービスの質の向上に利用されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在2回開催されている。会議の委員は家族、町内会役員、他施設の介護支援専門員、民生委員、管理者及び職員で構成されています。</p>		<p>今後は、2ヶ月に一度運営推進会議を開催して、火災避難訓練や食事についてなど取り組みの実際を見ていただき意見交換できるように計画がされています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市担当者や包括支援センターとの連携の重要性については十分理解し、サービスの質の向上に日々取り組んでいる。</p>		<p>今後、包括支援センターの協力を得ながら地域での救急救命訓練や高齢者問題についての講習会の開催が検討されています。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>運営推進会議で家族の意見や苦情を聞く機会を作ったり、毎月家族毎に「お手紙」で日常生活の様子や状態変化について情報提供しています。また、金銭管理については小遣い帳を作成して毎月家族に報告されています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関入り口に意見箱を設置して意見や苦情を表せる機会を設けたり、来訪時に気軽に話せるように取り組みそこでの意見を全体会議で総括し運営に反映しています。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、利用者に影響を与えないように取り組んでいる。</p>		<p>職員の異動時や来訪者に分かり易いように、管理者・職員を紹介する掲示板など設置する検討を期待します。</p>


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム協議会や研究会、包括支援センター、市主催の外部研修参加が実施されている。また、職員の資格取得を奨励して支援されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同一地域のお施設との交流で意見交換や情報交換が行われ、研修会も開催されている。今後は、相互訪問などさらに交流を深めてサービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居に際して、職員や他の利用者、場の雰囲気に馴染めるように家族と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>畑作りなど堆肥のつくり方や野菜の育て方など利用者から指導を受けながら、収穫を一緒に楽しんだり支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人ひとりの思いや意向を尊重して、碁や将棋、カラオケやオセロなどの趣味への支援や散歩や買物、動物園見学や美瑛や飛行場までのドライブなど外出の機会を多くつくる取り組みなどが行われている。</p>		<p>今後は、認知症ケアに有効とされるセンター方式の採用も検討されている。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族、関係機関からの情報収集、職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画の期間に応じてモニタリングを実施して本人、家族、職員の意見を取り入れ現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、通院への支援や往診など適切な医療が受けられるように柔軟に対応されている。また、訪問理美容の利用や馴染みの美容院への送迎など支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者をよく知る看護職員が在籍しており、提携医療機関や主治医、訪問看護の利用、医師による往診などで適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について本人・家族の意志が確認され、職員間で共有されている。		今後、ターミナルケアについて、知識習得のために施設内外での研修参加が検討されている。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護方針が玄関入り口に明示され、職員が共通認識を持つ取り組みを行っている。また、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを大切に、暮や将棋、カラオケ、かるたなどの趣味への支援や花菜里ランドや飛行場へのドライブ、温泉入浴など本人の希望や思いを把握した取り組みが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、盛り付けの工夫や配膳の準備、食器洗い等職員と利用者が一緒になって行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回を目安に入浴が楽しめるように工夫されている。また、希望やタイミングについて家族と相談しながら対応されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴が把握され、畑作業やカラオケなどの趣味への支援や気分転換のための飛行場や美瑛までのドライブ、敬老会での温泉入浴や外食など楽しみごとの支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やスーパーでの買い物、公園や温泉入浴、花菜里ランド、美瑛の丘へのドライブなど戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、オートロックシステムになっているが、利用者が希望すればいつでも外出できるようになっている。また、利用者が居室に鍵を掛ける場合もプライバシーや安全面に配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>全体会議で緊急時の連絡体制や避難方法が検討されている。また、AEDの購入も決まり緊急時への対応や地域住民への研修会も計画されている。</p>		<p>緊急時に速やかに対応ができるように、実技を伴う火災避難訓練や救急救命の講習会を運営推進委員の意見を戴きながら早急を実施することが計画されています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士の指導・助言を得ながら献立表が作成され、個別の嚥下状態などによる支援も実施されている。また、具体的な食事や水分の摂取量も記録されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって気になる臭いや不快な音、光の強さがないように配慮され、廊下には観葉植物や手作りの作品が飾られ生活感や季節感を採り入れられている。また、ベランダからは畑や周辺の景色が観れて開放感が感じられた。加湿器が配備されて、温度・湿度管理も適切に実施されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、家族の写真や観葉植物が飾られたり、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。